

 評価のポイント

CL-新人. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

〔9-新人〕 小児のフィジカルアセスメント（PAT：Pediatric assessment triangle を中心に）

1. 本講義で学んだ評価方法は、どのような場面で活用できるか考えてみましょう。

（3つ以上場面を思い浮かべてみましょう）

小児の評価の方法として Pediatric assessment triangle を用いた評価方法を学びました。

評価のポイントは、緊急時、平時ともに活用のできるため、さまざまな場面で活用できます。

活用するためには、どのような場面で活用できるのか、日頃より場面を想定しておくことが継続した活用とスキルの継続と向上に役立ちます。

2. 小児の評価方法には3つの要素がありました。各要素の評価で異常が発見された場合の対応と、あなたの行動を考えてみよう。

Pediatric assessment triangle による評価は、小児患者の示す所見や状態を評価した

結果までとなるため、その結果が示す病態に応じた対応を行うことが必要となります。例えば「全く反応がない」としたらどうするか、異常な呼吸音を感じたらどうするか、小児患者への個人での対応だけでなく、小児患者の現状の異常を回復するために必要な対応はないかも含めて考えてみましょう。